

金沢市で「いしかわ地震防災セミナー」を開催 ～令和6年能登半島地震を振り返り、事前の備えの重要性を再確認～

日本損害保険協会北陸支部委員会（委員長：高口 格・東京海上日動火災保険株式会社 金沢支店長）では、12月20日（金）に金沢市内で、令和6年能登半島地震を振り返る地震防災イベント「いしかわ地震防災セミナー」を開催しました。当日は、県内の方を中心に約120名に参加いただきました。

開会にあたり、高口委員長から、「能登半島地震から間もなく1年。本日のセミナーを通じて、改めて地震災害に向き合い、いざという時のために備えるきっかけにしていきたい」との挨拶がありました。

イベントでは、まず石川県危機管理監室次長兼危機管理課長の荒木 浩一氏から、能登半島地震の被害状況と県としてのこれまでの取組みについて説明がありました。講演の中では、「地域の災害リスクを理解し、まずは家庭からできることを実践していきたい」との話がありました。

続いて登壇した北陸学院大学教授の田中 純一氏からは、能登地域の現状と課題について説明があり、「個人の復興が果たせて、はじめて復興と言える」「耐震化に加え、保険加入も重要な手段である」との話がありました。

最後に登壇された(株)重政保険事務所専務取締役 重政 辰也氏からは、元旦に珠洲市内で被災された経験も踏まえ、地震保険の重要性について話がありました。

当日は県の防災士会などの協力もあり、多くの市民の方に参加いただきましたが、参加者からは「自然災害の怖さ、事前の備えの重要性を改めて理解できた」「地震保険を使ったことはないが、これからも加入を続けたい」といった声が寄せられました。

当支部では今後も、地震保険の普及・促進に取り組んでまいります。

『いしかわ地震防災セミナー』

日時：2024年12月20日（金）14時～16時10分

場所：石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

講演①：石川県危機管理監室次長危機対策課課長 荒木 浩一氏

「防災・減災に向けた取組みについて」

講演②：北陸学院大学教授 田中 純一氏

「自然災害への備え～被災後の課題から考える」

講演③：(株)重政保険事務所 専務取締役 重政 辰也氏

「今、私たちにできること」



高口委員長の主催者挨拶



石川県危機管理監室・荒木次長の講演



北陸学院大学・田中教授の講演



(株)重政保険事務所・重政氏の講演